

藤沢市教育委員会定例会（1月）会議録

日 時 2007年1月12日（金）午後3時

場 所 東館2階教育委員会会議室

1 開 会

2 会議録署名委員の決定

3 前回会議録の確認

4 教育長報告

(1) 平成18年12月藤沢市議会定例会の開催結果について

(2) 藤沢市青少年問題協議会委員の任命について

5 議 事

(1) 議案第30号 市議会定例会提出議案（財産の取得）に同意することについて

(2) 議案第31号 市議会定例会提出議案（財産の取得）に同意することについて

(3) 議案第32号 市議会定例会提出議案（財産の取得）に同意することについて

6 その他

(1) 湘南国際マラソン大会の進捗状況について

7 閉 会

出席委員

1 番 小 野 晴 弘
2 番 鈴 木 紳一郎
3 番 開 沼 佳 子
4 番 平 岡 法 子
5 番 川 島 一 明

出席事務局職員

教育総務部長	落 合 英 雄	生涯学習部長	高 木 三 広
教育総務部参事	小 島 隆	生涯学習部担当部長	浅 木 良 一
教育総務部参事	城 田 修 治	生涯学習部参事	渡 邊 忠 雄
教育総務部参事	飯 島 広 美	生涯学習部参事	植 木 正 敏
生涯学習部参事	武 清	生涯学習部参事	熊 谷 正 明
学務課長	田 中 一 次	保健給食課長	廣 野 賢 二
書 記	松 森 裕 二		

午後 3 時 00 分 開会

川島委員長

ただいまから藤沢市教育委員会 1 月定例会を開会いたします。

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、良き新年をお迎えになられたと思います。今年も教育界は大変な様子でございますが、皆様のご協力のもと無事に執り行ってまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

÷÷÷

川島委員長

それでは、日程に入ります。

本日の会議録に署名いたします委員は、2 番・鈴木委員、4 番・平岡委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

川島委員長

それでは、本日の会議録に署名する委員は、2 番・鈴木委員、4 番・平岡委員にお願いいたします。

÷÷÷

川島委員長

次に、前回会議録の確認ですが、何かありますか。

特にないようですので、このとおり了承することといたします。

÷÷÷

川島委員長

次に、教育長報告をお願いいたします。

小野委員

それでは、平成 18 年 12 月藤沢市議会定例会の開催結果につきまして、ご報告申し上げます。12 月市議会定例会は、11 月 28 日から 12 月 14 日までの 17 日間開催されました。

それでは、はじめに文教常任委員会についてご報告いたします。今回は 3 件の報告案件がございました。報告 (1)「長後地区学校安全ネットワーク事業について」でございますが、学校や通学路における子どもたちの安全を守るために、国と県教育委員会で進めております地域ぐるみの学校安全対策整備推進事業のモデル地域として、指定を受けました長後地区の具体的な活動内容につきまして報告をさせていただきました。

次に、報告 (2)「中学校国語科の履修について」でございますが、中学校国語科書写の指導漏れの状況について報告するとともに、今後の書写の指導の徹底や各校の指導計画の点検・把握方法の改善につきまして、報告させていただきました。

続きまして、教育委員会 12 月定例会でご報告いたしました報告 (3)「いじめ問題への取り組みについて」報告させていただきました。この報告の中で「児童生徒がいじめを受けた場合、誰に相談するのか」や「いじめが起きたとき家庭と連携した取り組みを行っているのか」等のご質問をいただき、「学級担任や養護教諭に相談をするケースが多い」ことや「被害児童

生徒はもちろん、加害者の児童生徒の家庭とも十分に連携をとって話し合いながら、解決に努めていく」ことなどを答弁するとともに、スクールカウンセラーの充実や養護教諭のスキルアップなど、相談体制の充実を図っていただきたいというご要望をいただき、報告を終わりました。

続きまして、一般質問につきましてご報告いたします。藤沢市議会 12 月定例会では、全体で 20 人の市議会議員から一般質問がございましたが、教育委員会に対しましては、9人の議員から 10 件、12 の要旨にわたり 38 項目のご質問をいただきましたので、主な内容をご報告させていただきます。

はじめに、藤沢新政会の熊倉旨宏議員でございますが、「教育行政について」という件名で、「放課後対策事業について」の要旨の中で、「放課後子どもプランの現状での取り組みについて」のご質問には、平成 19 年度内での試行に向け、学校及び地域との連携、協力を図る中で、余裕教室をはじめとする学校諸施設の活用、放課後子ども教室と児童クラブとの連携をいかにとっていくか等の課題を研究し、取り組んでまいりたい旨を答弁いたしました。

次に、藤沢市公明党の大塚洋子議員でございますが、「子育て支援について」の件名で、要旨 3 「就学期の子どもの居場所について」の中で、「児童クラブの未設置校区並びに待機児童等の現状と将来課題について」のご質問には、本市では「1 小学校区 1 児童クラブ」を基本理念としておりますが、1 小学校区において未達成学区があることから、平成 19 年度内にこの解消に向け対応に努めてまいりますとともに、待機児童等につきましては、児童数の増加に伴っての児童クラブの大規模化の対応としまして、同じ小学校区内に分館を整備することで解決を図ってきていますが、今後も相当数が想定されることから、この対処方が将来的課題として挙げられます旨を答弁いたしました。

続きまして、藤沢新政会の松長泰幸議員より「教育行政について」という件名で、「いじめ問題等について」の要旨の中で「学校現場においていじめが起きる要因について」のご質問には、児童生徒自身の要因、家庭の要因、社会の要因等さまざまな要因があると考えますが、特に、社会の基本的なルールを遵守する意識の希薄化、自己抑制力の欠如、言葉を通じて問題を解決する能力の不足などが考えられます旨を答弁いたしました。

次に、立志の会の有賀正義議員でございますが、「安全安心まちづくりについて」という件名で、要旨 3 「禁煙活動、禁煙教育について」の中で、「学校の禁煙状況の把握はしているのか、また、禁煙について決めているのは校長か、それとも教育委員会か」とのご質問には、受動喫煙を防止するため、学校の建物内では全面的に禁煙を実施しておりますが、所属職員に喫煙者が

いる場合は、成長期の児童生徒の受動喫煙の害を防ぐことや、禁煙教育の観点を十分配慮した上で喫煙場所を設定し、来校者にも同様の協力を依頼し、分煙を徹底しております旨を、また、学校での喫煙については、法令や通知等に基づき児童生徒の学校生活に直接関わる場合は、教育委員会が決定し、学校へ通知し、学校行事や施設開放などで保護者や市民に協力を得るような事柄については、学校施設管理者である校長が判断する旨を答弁いたしました。

次に、藤沢市公明党の塚本昌紀議員でございますが、「安全安心のまちづくりについて」という件名で、要旨3「児童生徒の安全について」の中で、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」を全市に広げるためにはどのような取り組みが必要と考えるか」とのご質問には、この事業は県が推進している事業であるため、市独自にモデル地域を広げることは難しく、県と連携しながら事業を推進し、教育委員会といたしましてはモデル地域での活動から得られた体験や成果といったものを、他地域の学校安全に関わる自主的な活動をしている団体に情報提供していくことが大切であると考えております旨を答弁いたしました。

次に、立志の会の河野顕子議員でございますが、「教育行政について」という件名で、「教育委員会の活性化について」の要旨の中で、「いじめ自殺等、緊急事態が起きたときに、教育委員会が学校の前面に立ってサポート体制がとれないか」とのご質問には、教育委員会では学校事故等に関しましては、「学校での緊急事態及び重大事件・事故発生時における対応と連絡体制」のマニュアルを作成し、万一重大事故等が起きた場合には、教育委員会指揮本部と学校現場指揮本部を早期に設置し、情報収集や保護者からの問い合わせ、記者等の取材への対応等について、学校及び教育委員会の役割分担を明確にしており、教育委員会が中心となって学校現場をしっかりと支援し、学校が孤立しないよう連携をして対応してまいります旨を答弁いたしました。

次に、日本共産党藤沢市議会議員団の加藤なを子議員でございますが、「総合的子育て支援について」という件名で、要旨2「児童生徒の教育環境の整備について」の中で、「少人数学級編制についての今後の取り組みについて」のご質問には、少人数学級編制を希望する場合、学級増を行うための教室があることが条件となっておりますが、現在、児童数が微増傾向にあることから、新たに教室を確保することは難しい状況にあり、すべての小学校に講師を派遣するなど新入生サポート事業のさらなる充実を図り、基礎学力の充実や学習意欲の向上を図ってまいりたいと考えております旨を答弁いたしました。

次に、立志の会の三野由美子議員でございますが、「海岸関係の諸問題について」と「教育行政について」の件名でご質問がございました。「海岸関係の諸問題について」の要旨2「湘南国際マラソン開催に向けての市の支援状況について」で、「市の支援状況についてお聞きしたい」とのご質問には、コース周辺の自治体や関係行政機関との協議の場を設け、行政側の協力内容等について足並みがそろそろよう調整を進めるなど、円滑な大会開催に向けて側面的に支援をしている一方、市の広報による大会開催に関わる案内・周知やボランティアの募集を行うほか、会場周辺やコース沿線のクリーンアップ作戦の展開など具体的な支援もしてまいります旨を答弁いたしました。

「教育行政について」の要旨1「特色ある学校づくりと学校選択制について」で「学校選択制導入の考え方について」のご質問には、特色のある学校づくりの推進や保護者の多様なニーズへの対応、教職員や保護者の意識改革が図れるなど、メリットについては承知をしておりますが、通学範囲の拡散により地域に根ざした学校づくりが困難になることや、登下校に時間を要することによる交通上、防犯上の不安というデメリットも考えられ、また、児童生徒数の増加に対応するため、現在も仮設校舎で授業を行うなど、教室の確保には大変苦慮している現状から、現時点での学校選択制の導入は極めて困難であると認識しております旨を答弁いたしました。

「教育行政について」の要旨2「土曜日等の学校における学習について」で「地域の人が取り組む土曜スクールについて、教育委員会も支援を行うべきでは」とのご質問には、現在、土曜日にも学校では部活動やスポーツ少年団等の活動が行われ、子どもの遊び場としても小学校の校庭を開放したり、体育施設、公民館、図書館等さまざまな公共施設で幅広い活動ができるよう支援しておりますとともに、このほかにも子どもたちのために自主的な活動を進めている諸団体もありますので、教育委員会といたしましては、それら諸団体の活動を尊重してまいりたいと考えております旨を答弁いたしました。

最後に、市民の党の原田建議員でございますが、「美しい国より人に優しい自立したまちづくりを」の件名で、要旨3「履修問題等にあらわれた教育課題について」の中で、「総合的な学習の新設や選択授業数が増加するなどの学習指導要領の改訂が学校にどのような影響を与えたか」とのご質問には、マイナス面としては、総合的な学習の時間の準備に大変な時間と労力がかかることや、選択授業が拡大されたにもかかわらず、それに伴う人員配置が行われないなどにより、教員の一層の多忙化を招いていることや、児童生徒にとって平日の授業時間数が増え、放課後の委員会活動や児童生徒会活動、部活動の時間が短くなったことが挙げられ、プラス面としては、学習指導

要領の内容に加えて、補足的な内容や発展的な内容など児童生徒一人ひとりの「個」に合わせた指導が可能になったことなどが挙げられますが、学校では学習指導要領の目標を達成するために最大限、努力しております旨を答弁いたしました。以上で、平成 18 年 12 月藤沢市議会定例会の開催結果についてのご報告を終わりとさせていただきます。

続きまして、2 点目の藤沢市青少年問題協議会委員の任命についてご説明いたします。このことにつきましては、現委員が 2006 年 12 月 31 日をもって任期満了となったことに伴いまして、新たに委員を任命させていただいたものでございます。任期につきましては、2007 年 1 月 1 日から 2008 年 12 月 31 日までの 2 年間でございます。なお、任命させていただいた方々のお名前は、記載のとおりでございます。以上で、教育長報告を終わりとさせていただきます。

川島委員長 　　ただいまの教育長報告に対しまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、報告どおり了承することにいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

川島委員長 　　次に、議事に入ります。議案第 30 号から議案第 32 号市議会定例会提出議案（財産の取得）についてを一括上程いたします。事務局の説明をお願いいたします。

城田教育総務部参事 　　議案第 30 号から議案第 32 号までを一括して説明いたします。高砂小学校ほか 2 校の財産の取得につきまして、12 月の教育委員会定例会で教育財産の取得の申出についてご審議をいただきましたが、今回、提案する議案は、市議会定例会に提出する財産の取得議案に同意することについて、市長から意見を求められたものでございます。

議案第 30 号は高砂小学校の財産の取得によるものです。1 の取得する財産の所在地、名称、構造等、面積は記載のとおりです。2 の契約の相手方、3 の取得価格は記載のとおりです。4 の取得時期につきましては、本年 3 月末日となっております。

議案第 31 号は石川小学校の財産の取得によるものでございます。1 の取得する財産の所在地、名称、構造等、面積は記載のとおりです。2 の契約の相手方、3 の取得価格は記載のとおりです。4 の取得時期につきましては、本年 3 月末日となっております。

議案第 32 号は白浜養護学校の財産の取得によるものです。1 の取得する財産の所在地、名称、構造等、面積は記載のとおりです。2 の契約の相手方、3 の取得価格は記載のとおりです。4 の取得時期につきましては、本年 3 月末日となっております。以上、3 議案の提案理由といたしましては、地方

教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定により、議会の議決を経るべき事件の議案について、市長から意見を求められたことによるものです。以上で説明を終わります。

川島委員長 事務局の説明が終わりました。議案第 30 号から議案第 32 号につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。
(「異議なし」の声あり)

川島委員長 それでは、議案第 30 号から議案第 32 号の市議会定例会提出議案(財産の取得)に同意することについては、原案どおり決定することといたします。
÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

川島委員長 次に、その他(1)湘南国際マラソン大会の進捗状況について、事務局の説明をお願いいたします。

熊谷生涯学習部参事 湘南国際マラソン大会の進捗状況についてご説明いたします。大会名称は「2007 湘南国際マラソン大会」でございますが、昨年 12 月 25 日に実行委員会が開催されまして、その中で今まではマラソン大会実行委員会が主催団体で進めておりましたが、神奈川県陸上競技協会に主催団体の変更がございました。これは公認コースを使って大会記録を公認するというのを考えておまして、日本陸連との調整の中で都道府県陸協が主催する大会でないと記録公認はできないということを受けて、県の陸上競技協会が主催団体に入ることになりました。開催日は平成 19 年 3 月 18 日(日)です。コースは、フルマラソンと 10 km とありまして、フルマラソンにつきましては、タイムで設定しておりますエリートの部と一般の部に分けております。スタート場所は新江の島水族館前から二宮インターまで 134 号線を使って行います。二宮インターを折り返して江の島の橋を渡った中にゴールポストを設けることで現在進められております。

10 km の部につきましては、スタート場所は同じですが、茅ヶ崎の浜須賀交差点を折り返して、湘南江の島のゴール地点まで戻ってくる。この 10 km の部には障害者の部もありまして、視覚障害、知的障害、移植者も含まれる形になります。

もう 1 つ 10 km 車いすの部というのがございまして、これは折り返しせず、そのまま茅ヶ崎の柳島がゴールになります。ゴール後は大会専用車両で江の島まで移送するという形です。なお、昨年 12 月 25 日に報告されました種目及び申込み状況は、フルマラソンエリートの部が 135 人、一般の部が 7,509 人、10 km 一般の部が 4,098 人、10 km 車いすの部が 13 人、障害者の部が 36 人(視覚障害者 17 人、知的障害者 15 人、移植者 4 人)で、総計 1 万 1,791 人でございます。また、フルマラソンのスタートは 9 時、10 km のスタートは

12 時と予定されております。この時間等につきましては、実行委員会推進事務局の方から神奈川県警におおよそこのくらいのもになると予測したものの提出段階です。詳細につきましては、県警から正式に出された使用許可、あるいは交通規制等を勘案して当日の役員マニュアル等の中にはそういった時間が示されるということではありますが、本日、お示ししておりますものは、まだ県警から正式に規制等を出されたものを勘案して作成したのではない、事前のものということでご承知おきいただきたいと思います。以上です。

川島委員長 事務局の説明が終わりました。何かご意見等がありましたらお願いいたします。

小野委員 陸上競技協会が主催となったときに、藤沢の行政として何か対応が変わったことはありますか。

熊谷生涯学習部参事 藤沢市に限らず関係する茅ヶ崎市、平塚市、大磯町、二宮町それぞれが実行委員会に委員を出して側面的に支援しているという形をとっておりますけれども、立場的な変更は特にございません。あくまでも神奈川県陸上競技協会も当初実行委員会が主催で、陸協は主管をするということで進めてきておりましたので、記録公認をするためには県陸協が主催団体にならないといけないということで、陸上競技協会が主催団体として名義を貸しますということで、実質的な細かい作業等については今までと同じように実行委員会の方で行って、陸上競技協会は主催団体として名前は貸します、大会の実質的な運営は一切行います、そのかわり準備作業等の細かいものは、従来と同じように実行委員会で行うといった位置づけでございます。

小野委員 ボランティアとか整理員等についてのめどは立っているのですか。

熊谷生涯学習部参事 大会のボランティアにつきましては、1万1,000人を超える参加者があり、想定しておりますのは、当日のボランティア1,500人を現在募集しているところでございます。1月19日が締め切りになりますが、10日に関係行政間の連絡調整会議を開き確認を求めた段階では500人弱ですが、まだ各市の体育指導員の皆さん、あるいは県の高体連を通じまして、高校陸上部の顧問の先生から部員にサポートを依頼しているようでございます。また、県内の大学の陸上競技関係者にも協力要請をしていると伺っておりますが、その数字が入ってきていない段階のものでございますという説明はございました。ただ、関係行政間の調整会議をした中では、いきなり足りないから行政の方で協力してくれと言われてもこれはできませんということで、各市町とも改めて確認をし合っておりましたので、職員に手伝ってくださいというようなことはないと思います。藤沢市の状況で言いますと、福利厚生会を通じまして会員の皆さん、市の職員の皆さんにボランティア協力をお願い

いたしますという呼びかけはさせていただいております。そのような状況で
ございます。

川島委員長 ほかにありませんか。ないようですので、ぜひ成功するように頑張ってい
ただきたいと思います。それでは、本件を了承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

川島委員長 以上で、本日予定いたしました審議案件は、すべて終了いたしました。
次回定例会の期日を決めたいと思います。2月9日（金）午後3時から、
場所は、東館2階教育委員会会議室において開催することにご異議ありませ
んか。

（「異議なし」の声あり）

川島委員長 それでは、次回定例会は2月9日（金）午後3時から。場所は東館2階教
育委員会会議室において開催することに決定いたします。

本日の会議を終了いたします。

午後3時30分 閉会

この会議の結果を記載し、相違ないことを確認する。

藤沢市教育委員会委員長

藤沢市教育委員会委員

藤沢市教育委員会委員